

月刊
さわやか

第92号
平成26年12月15日

《発行》
公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
TEL 042-1581-8171

“アイデアの事業化に挑戦！”
リビングサポート
企画事業チーム
「映像ソフト」部門
の取り組みを紹介

昨年4月に発足した当センターの職群班「リビングサポート」内には、DVD制作など映像ソフト・アイデアの事業化に挑戦しているチーム（通称「映像チーム」）があります。その取り組みについてリビングサポート班の八村耕治班長に紹介していただきました。

リビングサポートには絶えずさまざまなご相談や注文が寄せられます。そうした中、「ファミリ



DVD日野伝承話「藤治権現」から

パーティーの写真撮影は？」という相談が舞い込みました。たまたま「撮影の代行、パーティー企画の支援」といった分野への業務拡大を検討していたこともあり、この案件をお受けした結果、撮影にとどまらず、アルバム写真のスクリーン投射、音声操作など、多面的なお手伝いになり「素晴らしい思い出になった」と、うれしいお言葉を頂戴することが出来ました。

この取り組みに背を押される

形で、映像に関わるテーマを中心にするチームをリビングサポート内に新たに結成し、今までセンター窓口ではお断りしていたような案件でも可能な限り幅広く挑戦をしていくことを念頭に、「企画事業チーム」と名づけました。

この新しいチームが発足して一年、視覚障害の方からの「パソコンのデータ整理」、ある幼稚園からの「催し物のビデオ撮影とDVD化」、ある自治会からの「保存文書のデジタルデータ化」とか、「DVD録画機の操作説明」「テレビ録画の設定支援」など、実にさまざまな案件に対応してきました。

また、自主企画として「日野に伝わる伝承の紙芝居DVD」「日野の四季の景観ガイドDVD」「市内の美味店探訪DVD」などの制作計画も立てています。

いずれも、採算は？ 販路は？ ……といった課題を抱え、チーム内でも多様な意見が錯綜していますが、「挑戦の中でこそ道は開

会員数
平成26年10月31日
計 1,663名
男性 1,225名
女性 438名
10月入会者19名
(男11名、女6名)
10月退会者6名
(男6名、女0名)

ける」という前向き思考で一致、「とにかく、楽しもう」を合言葉に一歩一歩前進を続けています。こうした分野に関心をお持ちの会員皆様の積極的参加をお待ちしています。

(リビングサポート・八村耕治)

山田元会長が逝去

当センターの元会長であった山田初夫氏(日野2班)が12月4日、逝去されました。享年86歳。昭和63年1月12日の入会以来、地域班長、総務部会長、副会長等を歴任、平成13年4月〜17年3月、会長を務められました。

**12月の就業報告書は
1月5日までに**

12月の就業報告書は、遅くとも年明け5日までに、事務局に届けてください。12月27日〜1月4日は事務局が休みですので、この間は駐車場入口のポストに投函してください。

「今回6ページ建て」

- 3面II女性会員交流会
- 4面II会員募集ポスター掲示
- 6面II秋のウォーキング

後期地域班会議が順調に

今年度の後期地域班会議は、早い地域班では11月16日に開始、12月半ばまでに数班を除いて大半の地域班が終えました。

班長の要請で理事が出席した班もあり、理事の出席がなくても班長が独自に資料を用意したり、地域委員会渡しの高齢者への「気かけ運動」チラシやブロック長会議議事録などを活用したりして、独自の努力をしている班もあります。中には、女性会員の出席が良くなった班もいくつかあります。



豊田班の地域班会議 (H26.11.22)

討議活発な豊田班

豊田班(馬場邦久班長)は11月22日、豊田下地区センターで地域班会議を開催しました。出席者は16名(うち女性2名、班員58名)。出席率27.6%。理事の出席はありませんでしたが、出席者の多くが発言し、活発な討議が交わされたことが特徴的でした。

会議は午前9時半に開始。議長に馬場班長と前班長の松本仁一氏。センターの当面の課題や「気かけ運動」等について馬場班長の報告を受け、討議に移行。就業やボランティア活動に関する質問・意見が多く、11時半の閉会まで中味の濃い2時間でした。

理事・監事推薦委を選出

今年10月1日施行の「理事及び監事推薦要綱」にもとづいて、新しい推薦委員会のメンバーが次のように選出されました。事務局長および6委員会から選出された各1名から成ります。

- ・安藤恒美事務局長 Ⅱ 委員長
- ・総務委員会 Ⅱ 岸重雄委員
- ・事業委員会 Ⅱ 瀬田隆委員
- ・業務委員会 Ⅱ 桐田英一委員
- ・地域委員会 Ⅱ 市川勝正委員
- ・女性委員会 Ⅱ 渋谷善子委員
- ・安全管理委員会 Ⅱ 穴山忠敬委員

第1回委員会を開催 全会員に推薦依頼文を配付

選出された理事及び監事推薦委員会は11月6日、第1回委員会を開催しました。委嘱状の交付、各委員の自己紹介の後、安藤委員長より渋谷委員が副委員長に指名され、承認されました。

会議では、全委員が推薦要綱を精読し、また委員の役割を確認しました。さらに、会員向けの「役員候補者の推薦について(お願い)」文書を検討、推薦期限を来年1月16日までとし、文書の全会員配付を決定。文書は11月15日発行の『月刊さわやか』に折り込まれました。

推薦委員会では、「後期地域班会で話題になったこと」が、推薦基準を満たし、役員にふさわしい会員の推薦をお願いします」と呼びかけています。第2回委員会は12月18日開催の予定。

理事会二ユース

★第8回理事会 11月26日

- ・審議事項 Ⅱ ①正会員の入会(20名承認、12月1日付で入会)、②就業調整委員会設置規程の一部改正【注】
- ・報告事項 Ⅱ ①10月事業実績(本年度累計で前年度比5%増) ②各委員会の活動状況(5面参照)

【注】就業調整にあたり選考のため面接を採用(詳細は次号で)。

「センター行事日程」

- 1月5日(月) 役員顔合わせ Ⅱ センター会議室
- 2月27日(金) ブロック長会議 Ⅱ センター会議室
- 3月13日(金) 第3回地域班長会議 Ⅱ 生活・保健センター

「各委員会の補充人事」

- 総務委員会 1名(計6名)
- ・光田 烈 Ⅱ 鹿島・南平班

配分金の支払日

- 12月19日(金)
- 1月20日(火)
- 2月20日(金)
- 3月20日(金)
- 4月20日(月)
- 5月20日(水)

テレホンサービスは
042-581-0555

第2回 女性会員交流会を開催

——「女性会員をふやすには？」をテーマに

平成26年度の「女性会員交流会」が11月18・21日の両日(13時30分〜15時30分)女性委員会主催で開催されました。昨年度に続いて2度目。

〈今年度のテーマ〉

「今後、女性会員を増やすには、どのような施策・活動をしたらよいか、またご希望の講習会開催などについても皆さんの考えをお聞かせください」

★18日〓七尾福祉センターにて
挨拶・安藤事務局長
参加者17名



七尾福祉センターにて(H26.11.18)

★21日〓勤労青年会館にて

挨拶・有賀事業委員長
参加者20名

昨年度は地域班ブロック別4回に分けて実施しましたが、今年度は、会員の利便性を考慮した開催場所を設定し、これにより開催回数も2回に限定しました。

グループに分かれて討議

会議は全体会議を行わず、参加者をグループに分け、グループによる討議を行ない、各グループでは討議内容のまとめ役を決め、討議内容の集約を行いました。

女性委員会委員が一人ずつ各グループに入り、進行を手助けしました。

グループ討議は活発にかつ和やかに行なわれ、討議終了に際し、各グループが集約した要望・意見などが発表され、有意義な交流会になりました。

提起された要望・意見の一部

○人気のある職種の仕事は、もっとシニアできないか。



勤労青年会館にて(H26.11.21)

○仕事が決まらない。採用基準について疑問がある。

○自転車整理の仕事は、女性でもできるのではないか。

○テレホンサービスの就業情報が聞きづらい。

○就業前に接遇研修をして欲しい。
○『月刊さわやか』で女性会員特集を組み、活動状況などを知らせてはどうか。

○「ウオーキングの会」の回数を増やして欲しい。

○いろいろな「趣味の会」が作れないか。

女性委員会では、集約された要望・意見などについては後日、何らかの形で皆さんにお知らせすることとしています。

全地域班一斉清掃の参加者は545名

今年の第11回全地域班一斉清掃(10月26日実施)の参加者は545名でした。これは過去最高だった一昨年の560名に次いで歴代2位です。(左表参照)

過去の一斉清掃一覧表

回	実施年月日	参加者数
1	H20. 5.18	414
2	20.11.16	*209
3	21. 7.19	418
4	21.10.18	482
5	22. 3. 7	雨天中止
6	22. 7.18	412
7	22.10.17	457
8	23.10.16	448
9	24.10.28	560
10	25.10.27	535
11	26.10.26	545

*雨天のため14班で実施



清掃開始前に=日野本町班(H26.10.26)

会員増強めざして 《募集ポスター張り出す》

～市広報板150カ所～
地域委員会が作製・掲示
(理事も分担)

経営企画会議で「総合対策」を
検討、各委員会が順次実施

経営企画会議(今年7月発足、全理事で構成)では、発足後の主要テーマとして、目下全国SCの課題である「会員増強問題」を取り上げ、検討を続けています。

検討の方向は、会員増強対策Ⅱ「会員減少に歯止めをかける」対策として、①会員募集の積極化、②就業拡大(入会者を増やしても仕事があれば退会者が増える)、③退会防止(仕事だけでなくSC自体の魅力を高める)の3分野で対策を図る、いわば会員増強の「総合対策」です。

これを受けて、各委員会が順

次実施を図っていきます。その第一弾として、地域委員会が「会員募集ポスター」の作製と掲示を担当。決定から間がなく、年内掲示をめざして作業を急ぎました。ポスターのデザインも地域委員会が担当、印刷は事務局で。掲示は市地域協働課の許可印を得て、12月2日一斉に、日野市広報板150カ所に張り出しました。掲示期間は12月16日まで。

張り出し作業は、理事9名(特別委員の田倉理事を除く)および地域委員会6名で一人10カ所を分担しました。その中で見られた一つの特徴は、「班員の20名回復」をめざす日野台2班の栗山班長が、地域委員会分担分の中から、独自に班内10カ所分の掲示を請け負ったことでした。



掲示された会員募集ポスター

全シ協・都SC連合 のニューズから

今回は、全シ協誌『月刊シルバー人材センター』今年9月号より、次の2点を紹介します。

■平成26年度全シ協定時総会開く

全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)の平成26年度定時総会が6月26日、東京・中野サンプラザで開催されました。

第一部は早大教授の白木三秀氏の講演。同氏は「今後の高齢社会の中での魅力的なシルバー人材センター」と題し、会員数問題にも言及、「会員数の増大には地域のリーダーを巻き込むことが重要である」とのべました。

第二部の総会では須藤忠雄会長が挨拶。平成25年度の受注件数は過去最多の360万件超だったが、契約金額は6年連続の減少で2979億円と指摘、「景気の回復がシルバー事業には反映されず」「(会員が)小さな仕事を積極的に開拓・受注した労苦の状況」を示しているとのべました。

■全シ協、田村厚労相あて 要望書を手渡す

定時総会の翌6月27日、全シ協の会長・理事らは厚生労働省に赴いて、田村憲久厚労相あての要望書を手渡しました。要望は主として次の2点です(要旨のみ)。

一、補助金について

シルバー事業に係る国の補助金予算額は二度の「事業仕分け」により三分の一の大幅削減があり、国に併せて地方自治体の補助金も削減された。そのため事務局職員を削減、事務局能力が低下し、十分な就業機会の提供ができないため、会員の脱退も多々見られる。

ついては、平成27年度のSC事業に係る補助金と公共事業の発注について、平成26年度以上の確保を強く要望する。

二、「収支相償」に関して

(公益目的事業に対し取られている)いわゆる「収支相償」に関して、事業年度にとでなく、たとえ5年間の収支状況を対象に適合性を判断していただきたい。

第2回 女性会員ウォーキング

参加者が手記 “3時間のすがすがしい行程！”

11月5日、昨年10月に続く2回目の女性委員会主催のウォーキング。昨年同様、日本ウォーキング協会公認指導員で当センター会員の水橋圭一氏(鹿島・南平班)の指導のもと、女性会員15名が参加しました(昨年は10名)。

午前10時に京王線長沼駅に集合し、ウォーミングアップと靴ひもの締め具合を確認して出発。

最初から長沼公園の登りはかなり急こう配。周りは色づき始めた木々が迫っています。足元ばかり見ずに景色を楽しむには、かな



参加者一同、ハイ・チーズ！

り厳しいものがありました。全員無事頂上へ。あいにく曇りで富士山は望めませんが、展望台から八王子市の一部が見えました。

小一時間ほど歩き、本日のお目玉、東京薬科大学の学食での昼食。麺類、定食のサンプルから選び食券を購入。特に好評だったのは「松花堂(風)お弁当」で煮物の味付けが絶品とのこと。

薬科大学敷地内にある薬用植物園を各自見学し、再び出発。平山城址公園へ登ります。

春は桜が素晴らしい「さくららの道」を抜け、平山季重神社へ到着。ここから京王線平山城址公園駅に降りる前に、軽くクールダウン。楽に降りられると思いきや、急で歩みにくい下り坂。どうにか平地にたどり着くと、どこからかハーモニカの音。参加者のどなたかが演奏してくださっています。

やさしい秋の歌を皆さんで口ずさみながら歩きました。足取りも心なしか軽く感じられ、約3時間のすがすがしい行程でした。

(清水本子記)

平成26年11月度

各委員会の活動

【総務委員会】

4日開催。①センターPR用横断幕に「会員募集」の文言明記案を検討。②就業調整委員会設置規程の一部改正(案)Ⅱ面接方式採用Ⅱを審議。③会員減少歯止め対策として会費見直し案を検討。

【事業委員会】

21日開催。①就業案内と応募状況、10月事業実績速報。②継続課題の進捗報告Ⅱリビングサポート・映像事業。③新規事業テーマⅡ介護予防事業、事業アイデア募集。④保育事業小委員会の発足。

【業務委員会】

7日開催。①就業案内と応募状況。②職群班事業の拡大・改善Ⅱパソコン班、山野草・ミニ盆栽、植木班の報告。③清掃事業の再編Ⅱ就業者と協議続行。④家事援助グループ懇談会(29日実施)。

【地域委員会】

10日開催。①地域班の分割・合併、とくに日野台2班について検討。②後期地域班会議について。③会員募集ポスターの作成・掲示Ⅱポスターデザイン制作、市広報板掲示のスケジュール検討。

【女性委員会】

12・26日開催。①26年度女性会員交流会の準備(18・21日開催)②会員対象講習会(12月11日開催)準備。③市民対象講習会(1月9日)準備。④会員配偶者(女性)あて入会お誘いチラシの検討。

【安全管理委員会】

10日開催。①高齢者自転車安全運転教室(4日、南平体育館・駐車場で開催)で会員20名参加の成果を討議。②今年度後期の職場安全巡回21カ所を決定。③損保会社による安全就業調査を検討。

【SCCの補助金】

それってなに？
本紙4面にあるように、全シ協はSC事業に係る国の補助金について「今年度以上の確保」を要望しました。営利団体ではない公益社団法人のSCは、事業運営経費の大半を補助金に依存しています。SCの補助金は国と地方自治体によって賄われ、当センターの場合、①市補助金(日野市と東京都)②連合交付金(国)から成っています。補助金は年々削減傾向にあり、昨年度の実績は①②併せて3921万9千円。これは過去最高の平成18年度の51%です。

高齢者向け自転車安全運転教室

——当センターから20名参加(前回は7名)

11月4日(火)南平体育館・駐車で、このところ毎年恒例となっている「高齢者の自転車安全運転教室」が開かれました。これは日野警察署と日野市の主催。

当日は晴れ、さわやかな秋日和になりました。今年も、SC会員の参加が多く20名、受付の生田事務局長代理の顔も幾分ほころんで見えます。これは宮古安全管理委員長、穴山同副委員長による参加呼びかけが大きかったようです。

10時開始。最初の40分は日野警察署員による近年の交通事故状況や注意事項。

- ・都内の件数は横ばいだが、高齢者の事故が20%↓40%に増加
- ・件数の三分の一は自転車事故
- ・70歳以上の高齢者は標識に係なく歩道を走れる
- ・青信号でも車に気をつける
- ・自転車に乗るときには「ブタハシヤベル」を点検する

- ブ↓ブレーキ
- タ↓タイヤ
- ハ↓ハンドル

シヤ↓車体
ベル↓ベル(鈴)

続いて実習。コースは、8の字、横断歩道(手前で止まり、人がいる時は降りて渡る)、Sの字。参加者はそれぞれ愛車に乗り挑戦。苦戦する人もいました。途中風が強まり、コース用に設置したマットが飛ばされるハプニングがあったが全員無事に終了しました。

今回の教室では、質問が活発になされました。自転車の交通



「8の字」コースと並んで待つ参加者

安全標語は来月に掲載します。

平成26年度後期職場安全巡回表(11月~2月)

No	巡回先職場	担当		
			11	宮古
1	南平丘陵公園	須藤	12	稲毛
2	百草台自然公園	穴山	13	小原
3	市民の森スポーツ公園	安藤	14	奥住
4	旭が丘中央公園	宮古	15	徳田
5	多摩平第一公園	小原	16	安藤
6	黒川清流公園	稲毛	17	全員
7	市内公園巡回	奥住	18	穴山
8	除草班(日野市内)	田中	19	須藤
9	除草班(日野市内)	渡辺	20	渡辺
10	除草班(日野市内)	徳田	21	田中

今年度後半の職場安全巡回計画きまる

違反を自動車のように取り締まれないか。多摩川等の土手を軽快車がすごいスピードで走っていることがあるが、民間人の監視要員を置けないか(何の身分もなければ効果が小さい)等々。帰りに際、セーフライト等のお土産をいただきましたが、これは参加時の楽しみの一つ。

主人の介護に思う①

麻生 明美

主人が脳内出血で突然倒れたのは7年前、まだ59歳の時でした。入院しましたが、環境のせいで高血圧になり自宅療養とリハビリを条件に1週間で退院しました。あまりに急な主人の発病に私は動揺してしまい、自分の仕事(給食)を続けながら慣れない介護が出来るのかと悩み、精神的に落ち込んでしまいました。そのようなとき、十数年来ずっと仲良くしていた3人の友が心配して声を掛けてくれ、「あまり心配しないで、私たちが居るから」と励ましてくれました。その友人たちのおかげで、私も主人の病に向き合えるようになりました。主人はその後、月に1回の通院、自宅療養後半年で元の仕事に戻りました。しかし、次第に歩き方が小刻みになり、4年前には公道で何回も転び骨折や歯を折るなどしました。神経内科の先生に診ていただいたら多発性脳梗塞によるパーキンソン症候群と判り、お薬で歩行の状態は少し改善したものの容態は要介護2まで進行了。 (つづく) (日野本町班)